

科目名	心理学測定法	
担当者	木下 昌也 / 鈴木 雄清	
科目情報	心理臨床<基礎> / 必修 / 後期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	心理学では、主観的な心理現象を客観化するために数値化すること（測定）がしばしばおこなわれる。本講義では、その論理およびそこで得られるデータの意味や処理のしかたについて講義する。また、簡単な実験計画法や分散分析についても解説し、「比較」の方法についても学ばせたい。
	到達目標	最低限の目標：基本統計量や実験計画に関わる言葉の意味を理解する。 さらなる目標：心理測定の論理と問題点、統計学の思考法、統計的検定の手続きを知る。
授業計画	(1) オリエンテーション (2) 心理測定の問題点／データの種類 (3) 信頼性と妥当性／度数分布 (4) 心理学（あるいは統計学）における人間観／代表値 (5) データのばらつき (6) クロス表 (7) 相関 (8) 推測統計の基礎 (9) 実験計画の基礎 (10) 統計的検定① (11) 統計的検定② (12) 統計的検定③ (13) 要因配置と分散分析 (14) 日常の中の非合理的思考 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・前回までの学習について教科書、ノート、プリント等で振り返っておくこと
	事後学習	・当回の学習について教科書、ノート、プリント等で振り返ること
使用教材・参考文献	【教】吉田寿夫『本当にわかりやすいすごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』 北大路書房 1998年	
成績評価方法と基準	授業中に課す課題（50%）、および期末レポート（50%）により、上記目標に到達しているかどうかを判断し、評価する。	
備考		